

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7900 経営分析 [決算書の分析]			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜3限				
教室	J203教室				
代表教員	吉沢 壮二郎				
担当教員	吉沢 壮二郎				
テーマと到達目標	決算書から会社の財産や利益、お金の流れがわかります。この授業の目標は、決算書の読み方や分析指標の計算方法、会社同士の比較の仕方を身につけることです。就職先を選ぶとき、取引先と交渉するとき・・・等、よりよい判断ができるようになります。ところで「良い会社」とはどんな会社でしょうか。これはどんな立場から会社を見るかによって変わってきます。この授業では、会社をより広い視点から分析することも考えていきます。				
概要	第1回の授業では、決算書とは何か、決算書から何が分かるのかを解説します。第2回・3回の授業では、2つの基本的な決算書について、仕組みと見方を確認します。第4回～9回では様々な業種の会社の決算書を取り上げながら、収益性や安全性、資金繰りの分析方法について学びます。第10回・11回では、キャッシュフロー計算書の仕組みと重要性について学びます。第12回では、分析レポートの作成の準備を行います。第13回では、株式投資に役立つ分析指標について学びます。第14回・15回では、法人企業統計を用いて、日本の企業のあり方や富の分配について考えます。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	分析をはじめる前に：決算書から何が分かるのか				対面授業
第2回	貸借対照表のしくみと見方：お金の集め方と使い方を読みとる				対面授業
第3回	損益計算書のしくみと見方：いろいろな利益の違いについて知る				対面授業
第4回	時系列分析				対面授業
第5回	収益性の分析①：儲ける力を分析する方法 (売上高利益率と資本利益率)				対面授業
第6回	収益性の分析②：資本利益率の分解から分かる「儲け方」の違い				対面授業
第7回	収益性の分析③：ROAとROE				対面授業
第8回	財務安定性の分析：この会社、大丈夫？				対面授業
第9回	回転期間の分析：キャッシュまでの距離				対面授業
第10回	キャッシュ・フロー計算書の分析：「勘定あって銭足らず」とならないために				対面授業
第11回	倒産のケース・スタディ：キャッシュ・フロー計算書から読み解く倒産の原因				対面授業
第12回	分析レポートの作成に向けて／競合他社との比較の方法				対面授業
第13回	投資家のための株価指標／株主構成と株主分配				対面授業
第14回	法人企業統計から見る「日本の会社」の変化／「内部留保」の分析				対面授業
第15回	付加価値の分析：富の分配を明らかにする				対面授業
成績評価の基準	中間課題50%、期末試験30%、平常点 (授業での取り組み状況) 20%				
履修にあたっての留意事項	中間課題として、各受講生に興味のある企業についての分析レポートを作成してもらいます。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限 (抽選) 授業の優先条件					

## ◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	授業中に計算問題を行うため、電卓を持参してください。スマートフォンなどを電卓の代わりに使用することは認めません。		
教科書	なし	教科書(ISBN)	
参考文献	なし	参考文献(ISBN)	

## ◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください <a href="https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html">https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html</a> 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること		
--------------------	--	--	--